

< 家畜防疫対策課 >

水際防疫・地域防疫・農場防疫及び迅速な防疫措置を4本柱として、それぞれの段階で取組を強化し、みやぎの家畜防疫の強靱化に取り組めます。

－ 家畜防疫対策課 －

1 重点目標

- ① みやぎの家畜防疫体制の整備・強化
- ② 獣医師確保対策の強化

2 令和6年度事業の概要

- ① みやぎの家畜防疫体制の整備・強化

○ 家畜防疫体制整備事業（164万円） 655,337千円【防疫指導担当】
家畜伝染病の確定診断前に必要な防疫措置の事前準備に係る経費及び豚熱の予防的ワクチン接種に係る経費を措置し、家畜伝染病のまん延防止を図る。

㊦ 「4本柱」で支えるひなた家畜防疫体制事業（158万円）71,042千円【防疫指導担当】
改正された家畜伝染病予防法に対応するため「みやぎの家畜防疫の4本柱」それぞれの段階で強化を行うことにより、全ての農場において防疫レベルの高位平準化を図る。

- ② 獣医師確保対策の強化

㊦ ひなたの獣医師確保修学資金給付事業（160万円）17,150千円【防疫企画担当】
㊦ ひなたを支援する獣医師確保事業（162万円）16,323千円【防疫企画担当】
な畜産の経営の安全、暮らしを支えるとともに、公衆衛生行政の長期・安定的な施行体制を図り、

家畜防疫対策課
直通電話番号 0985-26-7139
FAX番号 0985-26-7329
E-mail kachikuboeki@pref.miyazaki.lg.jp

改 「4本柱」で支えるひなた家畜防疫体制事業

家畜防疫対策課 71,042千円
【財源：国庫、一般財源】

事業の目的

国内外における口蹄疫等の家畜伝染病の継続的な発生及び農場の大規模化に対応し得るバイオセキュリティレベルの高い家畜防疫体制を維持するため、「防疫の4本柱」を中心とした対策の拡充を図る。

事業の概要

(1) 事業内容

- ① 水際防疫サポート事業（補助率1/2）
水際防疫協定締結団体等への防疫資材の支援
- ② 地域防疫サポート事業（補助率定額）
 - ア 家畜防疫システムに係る農場基礎情報（定期報告）の収集
 - イ 市町村自衛防疫推進協議会への支援
- ③ 農場防疫維持強化事業（補助率1/2）
 - ア 規模拡大農場等への指導強化（衛生管理マニュアル見直し、分割管理等）
 - イ 消安交付金による農場バイオセキュリティレベル向上のための支援
- ④ 迅速な防疫措置体制強化事業
若手職員の防疫リーダー育成研修の開催、中～大規模農場への防疫計画の策定拡充



農場防疫維持強化事業



迅速な防疫措置体制強化事業

(2) 事業の仕組み



(3) 成果指標

防疫計画の策定 現状（令和4年度）19% → 令和8年度 100%

事業の期間

令和6年度～令和8年度

【別紙】**改**「4本柱」で支えるひなた家畜防疫体制事業

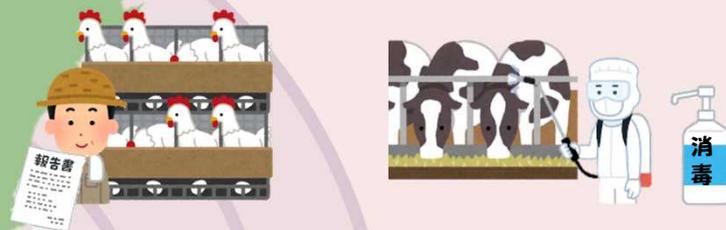
① **水際防疫**サポート事業

- ・ 水際団体への防疫資材の支援
- ・ 野生動物対策の啓発活動



② **地域防疫**サポート事業

- ・ 防疫システムの農場基礎情報の収集
- ・ 地域防疫活動への支援



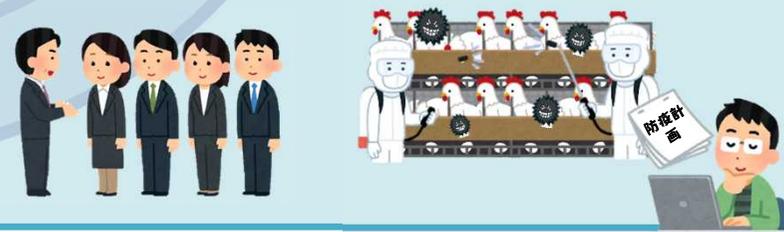
③ **農場防疫**維持強化事業

- ・ 規模拡大農場等への指導・助言
(衛生管理マニュアル・分割管理等)
- ・ 農場防疫資材導入等の支援



④ **迅速な防疫措置**体制強化事業

- ・ 防疫リーダー育成研修の開催
- ・ 中～大規模農場の防疫計画の策定



新 ひなたの獣医師確保修学資金給付事業

家畜防疫対策課 17,150千円
【財源：一般財源】

事業の目的

高校生・獣医系大学生に修学資金を給付し獣医師職員を安定確保することで、安全・安心な畜産経営の発展に資する本県防疫レベルの高位平準化の維持及び長期・安定的な公衆衛生行政の体制づくりを図る。

事業の概要

(1) 事業内容

① 地域枠(新規) (補助率定額)

- ア 対象者 高校生3年生(～卒後1年)
イ 給付の種類及び額 ※()は私立大
・入学準備金(入学金+前期授業料+実習費用等)
55万円(175万円以内)
・修学資金 10万円以内/月(18万円以内/月)
ウ 給付期間 6年間

② 一般枠(拡充) (補助率定額)

- ア 対象者 獣医系大学生
イ 給付の種類及び額 ※()は私立大
修学資金 10万円以内/月(18万円以内/月)
ウ 給付期間 1～6年間

(2) 事業の仕組み



(3) 成果指標

家畜保健衛生所獣医師数 現状(令和5年度) 60名 → 令和12年度 68名
食肉衛生検査所獣医師数 現状(令和5年度) 55名 → 令和12年度 66名

事業の期間

令和6年度～令和8年度

【別紙】**新** ひなたの獣医師確保修学資金給付事業

① 地域枠（新規）



宮崎県職員（獣医師）
を目指す**高校生**



県による大学入試前
地域枠選考試験
※合格すれば大学へ推薦

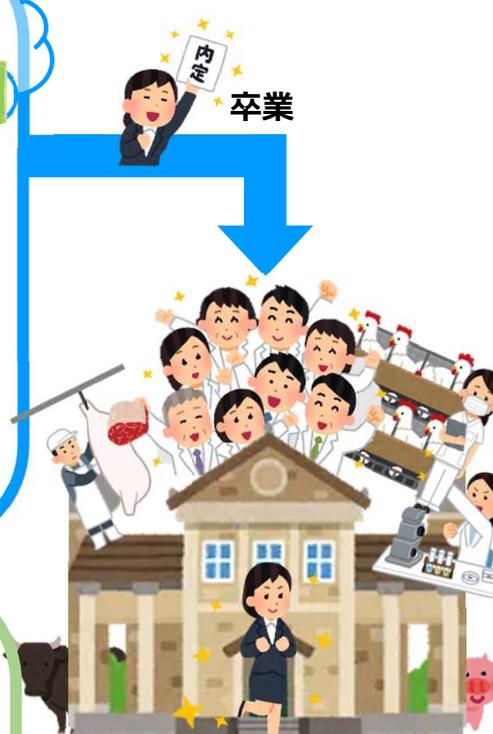


共通テスト、大学に
よる地域枠大学入試

合格



入学前：入学準備金給付
在学中：修学資金給付
(6年間) ※注



卒業

県庁入庁

卒業

② 一般枠（拡充）

全獣医系大学



宮崎県職員（獣医師）
を目指す**大学生**



県による
修学資金給付者選考
※合格者へ給付決定通知



在学中：修学資金給付
(1～6年間)



※注
入学準備金：55万円～(175万円以内)
修学資金：10万円/月(18万円以内)
()は私立大対象額

新 ひなたを支える獣医師確保事業

家畜防疫対策課 16,323千円
【財源：一般財源】

事業の目的

本県における獣医師不足を解消し、防疫レベルの高位平準化を維持し、安全・安心・安定な畜産経営の発展に寄与するとともに、公衆衛生行政の長期・安定的な施行体制を図り、県民の食の安全、暮らしを支える。

事業の概要

(1) 事業内容

① 緊急確保等対策

ア リクルート活動強化 (補助率定額)

- ・大学生(高学年)対策
就職説明会
- ・既卒者対策
求人サイト掲載、就業体験支援

イ 業務改善

- ・ICT導入
- ・業務のアウトソーシング等

② 安定確保等対策 (補助率定額)

- ・大学生向けPR(低学年)
- ・県内高校生向けPR
- ・既卒者向けPR
- ・若手職員のリスキリング等

③ 団体推進事務費 (補助率定額)



(2) 事業の仕組み

①②③県、県  団体(宮崎県獣医師確保推進協議会、(公社)宮崎県畜産協会)

(3) 成果指標

家畜保健衛生所獣医師数	現状 (令和5年度)	60名	→	令和12年度	68名
食肉衛生検査所獣医師数	現状 (令和5年度)	55名	→	令和12年度	66名



事業の期間

令和6年度～令和8年度

【別紙】

新 ひなたを支える獣医師確保事業

みやざきを しる

- 就職説明会
- 出張講義
- 高校生ガイダンス
- PR動画配信



みやざきに ふれる

高校生
大学生
就業体験



既卒者



修学資金

【地域枠】
【一般枠】

修学資金

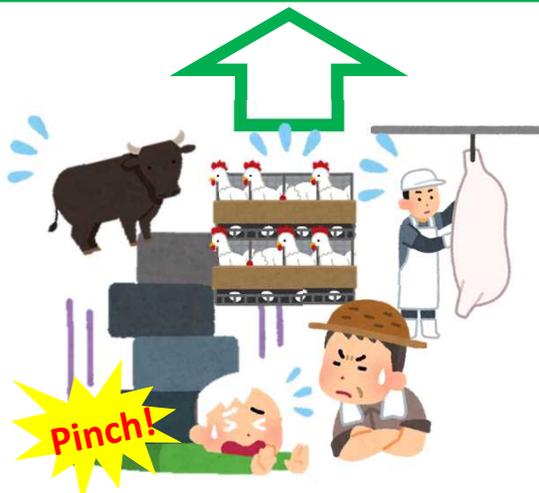


みやざきで はたらく まなぶ

- 若手職員の
リスキリング
スキルアップ
- やりがいづくり
- 働きやすい環境整備



UP



獣医師不足による畜産王国の
衰退、食の安全性の低下



獣医師の安定確保・定着



ひなたの畜産の発展
県民のくらしの安定

家畜防疫体制整備事業

家畜防疫対策課 655,337千円
【財源：国庫、一般財源】

事業の目的

家畜伝染病の確定診断前に必要な防疫措置の事前準備に係る経費、及び豚熱の予防的ワクチン接種等に係る経費を確保し、家畜伝染病のまん延防止を図る。

事業の概要

- (1) 事業内容
 - ① 発生前対策事業
家畜伝染病の確定診断前の事前準備に係る経費
 - ② 初動防疫事業
家畜伝染病の確定診断後の防疫措置に係る経費
 - ③ 豚熱まん延防止対策事業
豚熱ワクチン接種及び野生いのしし検査強化に係る経費
- (2) 事業の仕組み
 - ①②③県

事業の期間

平成24年度～